

基本目標 出会いと発見で人の流れを作る  
 ○まちの「だから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心をもち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や事業の拡充を図ります。  
 ○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれてよかった、住んで良かったと思える地域への愛着を芽生えさせ、育てていくことにより定住を促進します。  
 ○移住希望者の視点に立ち、日野町での暮らしがイメージでき、移住を後押しできるような情報発信と支援の充実を図ります。  
 ○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるような活用と情報発信を図ります。

施策 1 体験型観光の推進  
 ・(一社) 近江日野交流ネットワークによる農村生活体験と民泊の受入により、交流人口の拡大を図ります。さらに、近江日野商人の教えを活かしながら大学・企業等の研修受入に取り組みます。  
 ・柳田ボランティアなどの農業体験を通じて、交流人口の拡大を図ります。

① 重要業績評価指標 (KPI)		② 内部検証		③ 外部検証	
指標名	実績	目標	達成率	【今後の取り組み】	コメント
民泊受入人数	0人	0人	0.0%	民泊受け入れのさらなる充実と大学や企業研修の受け入れを行っていきます。	・柳田ボランティアの取り組みについて、交流人口を拡大していく手法として町の関わりを広く広げたい。 ・民泊を通じて、これまでに以上に日野の魅力を伝えてください。
研修受入人数	3,789人	150人	91.1%	修学旅行生等の民泊受け入れを行っていき、大学や企業研修の受け入れに向けて準備を進めています。 柳田ボランティアは滋賀県が事務局で県のHPでの呼びかけがされています。	
担当部署	商工観光課	農村課			

指標名	実績	目標	達成率	【今後の取り組み】	コメント
担当部署	商工観光課	農村課			

指標名	実績	目標	達成率	【今後の取り組み】	コメント
担当部署	商工観光課	農村課			

①重要業績評価指標 (KPI1)				内部検証		外部検証	
指標名		大学・企業等の研修受入人数		【取り組み状況】		【今後の取り組み】	
基礎値 (H28)	当年度値	達成率	実績	目標	実績	目標	コメント
3,789人	0人		0人	150人			
当年度値 (H31)	3,850人	100.5%	100人	210人	218人	109.5%	
H28	3,884人	100.5%	380人	210人	218人	109.5%	
H29	3,900人		250人	240人			
H30	3,950人		400人	270人			
H31	4,000人		500人	300人			
基礎値 (H31)	4,000人	97.1%	3,884人	380人	218人	72.7%	

内部検証		外部検証	
【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
<p>① 自然・環境、農林産業、伝統文化等を活用した農村生活体験における受入体制の整備や連携づくり、日野の魅力を発信するための取り組みを支援しています。また、海外からの受け入れにも積極的に取り組んでいます。</p> <p>② 近江日野商人の教養を高め、近江日野商人語や近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p> <p>③ 近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p> <p>④ 近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p> <p>⑤ 近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p>	<p>① 法人化された(一社)近江日野交流ネットワークの運営体制など、組織強化づくりに努めることにも、受入体制の整備や連携づくりによる受入体制の強化を図ります。また、海外からの受け入れにも積極的に取り組んでいます。</p> <p>② 近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p> <p>③ 近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p> <p>④ 近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p> <p>⑤ 近江日野商人社会と連携し、近江日野の発展に貢献しています。</p>	A	<p>・ 柳田ボランティアをばしめとして、交流人口拡大のため、農業体験等にも取り組むことをご検討してください。</p> <p>・ 農業体験から移住・定住入とつながるよう、観光客をこの町で育てるという視点をもち、基本的方向性を踏まえ、事業に取り組みしてください。</p>

(KPIの見直し内容)

指標名	見直し理由	大学・企業等の研修受入人数	柳田ボランティア参加延べ人数
前年度	見直し無し	見直し無し	見直し無し
後年度	見直し無し	見直し無し	見直し無し
H28	理由	年度	年度
H29		H28	H28
H30		H29	H29
H31		H30	H30
		H31	H31

基本目標 2  
 出会いと発見で人の流れを作る  
 ○まちの「たから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心をもち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や事業の拡充を図ります。  
 ○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれよかっただ、住んで良かったと思える地域への愛着を芽生えさせ、育てていくことにより定住を促進します。  
 ○移住希望者の集約に立ち、日野町での暮らしがイメージでき、移住を後押ししてきけるような情報発信と支援の充実を図ります。  
 ○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるよう活用と情報発信を図ります。

施策名	2	時期	観光受入体制の整備
施策内容	・遊賀農業公園ブルーメの丘などの異客力がある観光資源と町内にある神社仏閣、城跡、祭りなどの伝統行事、町並などの歴史的文化的資産を結び、観光ボランティアの養成、施設の整備などの観光客の受入体制の整備を図ります。		

① 観光業績評価指標 (KPI)		内部検証				外部検証	
指標名	数値	実績	目標	達成率	達成	未達成	達成率
指標名 観光ボランティア数 (1+2)	18人						
担当部署	観光課	実績	目標	達成率	達成	未達成	達成率
H27	18人	22人		122.2%			

【取り組み状況】  
 ・既設観光施設と古い町並みや神社仏閣等との連携による喜遊型観光推進のため、地域での連携協力体制を構築し、取り組みを進めました。  
 ・観光ボランティアの育成のため、日野町観光ボランティア協会の設立を推進し、日野町観光ボランティア協会の設立を推進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・近江日野町観光客の誘致を促進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。

【今後の取り組み】  
 ・既設観光施設と古い町並みや神社仏閣等との連携協力体制を構築し、取り組みを進めました。  
 ・観光ボランティアの育成のため、日野町観光ボランティア協会の設立を推進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・近江日野町観光客の誘致を促進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。

② 施策  
 ・既設観光施設と古い町並みや神社仏閣等との連携協力体制を構築し、取り組みを進めました。  
 ・観光ボランティアの育成のため、日野町観光ボランティア協会の設立を推進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・近江日野町観光客の誘致を促進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。

③ 施策  
 ・既設観光施設と古い町並みや神社仏閣等との連携協力体制を構築し、取り組みを進めました。  
 ・観光ボランティアの育成のため、日野町観光ボランティア協会の設立を推進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・近江日野町観光客の誘致を促進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。

④ 施策  
 ・既設観光施設と古い町並みや神社仏閣等との連携協力体制を構築し、取り組みを進めました。  
 ・観光ボランティアの育成のため、日野町観光ボランティア協会の設立を推進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・近江日野町観光客の誘致を促進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。

⑤ 施策  
 ・既設観光施設と古い町並みや神社仏閣等との連携協力体制を構築し、取り組みを進めました。  
 ・観光ボランティアの育成のため、日野町観光ボランティア協会の設立を推進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・近江日野町観光客の誘致を促進し、観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。  
 ・観光客の受入体制の充実を図りました。

① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	観光ボランティア数	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
基礎値 (H26)	18人						
担当部署	加工観光課						
目標							
達成率							
家数							
家族							
達成率							
H28	18人	94.7%		<p>① 既存観光施設や町並み、寺社仏閣等との連携による観光ボランティアの推進に取組むことにより、地方創生事業により日野町のまちを向上させるため観光やブルームの丘へのアクセス向上を図るため観光ボランティアマップのサイクリングマップの作成など、日野町の観光情報発信に取組むこと。</p> <p>② 魅力的な日野町の観光案内のため、日野観光ボランティア協会が県主催の養成講習会等に参加し、ガイドスキルを向上させた。</p> <p>③ 近江日野町観光ボランティア協会の運営を担い、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p> <p>④ 魅力的な観光案内のため、寺社仏閣等の連携を図り、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p> <p>⑤ 魅力的な観光案内のため、寺社仏閣等の連携を図り、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p>	<p>① 観光客の目的が多岐にわたることから、観光における目的別の連携を図るため、地域おこし協力隊の外部の拠点を活用し、具体的な連携策について検討を進めています。</p> <p>② まちなかへの観光客の誘導に向け、地方創生事業により日野町の観光情報発信の強化を図るため、観光客の誘導に力を入れています。</p> <p>③ 観光客の参入体制の充実を図るため、日野観光ボランティア協会の運営を担い、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p> <p>④ 魅力的な観光案内のため、寺社仏閣等の連携を図り、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p> <p>⑤ 魅力的な観光案内のため、寺社仏閣等の連携を図り、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p>	B	<p>・日野のまちをより魅力的に、観光客の参入体制の充実を図るため、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p> <p>・観光客の参入体制の充実を図るため、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p> <p>・観光客の参入体制の充実を図るため、観光客の参入体制の充実に取り組みました。</p>
H29	20人						
H30	22人						
H31	23人						
目標値 (H31)	23人	78.3%					

【評価が下がったことに対する懇話会からの再コメント】

- ・評価がAからBに下がりました。
- ・イベントをやることのみ終わっていません。
- ・移住につながる情報発信ができていないのではないですか。
- ・基本目標「出会いと発見で人の流れを作る」ことを意識して、移住・定住に結び付けて今後の取り組みを示して下さい。

【担当課からのコメント】

- ・イベントの開催により、町民の日野町への愛着が深まり、取り組みます。
- ・日野町の観光案内交流施設等の整備を通して、交流人口の増加、住民および来訪者の交流を促進し、出会いと発見で人の流れを創出できる事業の展開に取り組みます。

指標名		観光ボランティア数		指標名		観光ボランティア数	
年度	前	後	前	後	年度	前	後
H28			H28		指標名		
H29			H29		見直し理由		
H30			H30		年度		
H31			H31		年度		







① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	目標	実績	達成率	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
指標名 広承促進施設の利用率 基準値 (H26) 19,700人 担当部署 生涯学習課							
H28	29,000人	29,219人	100.8%	<p>② 日野商人館、近江日野商人会館、まろやかと郷土館の3館で連携を深めながら、町中観光ルートの確立につとめた。各館では、日野商人・栗業などを中心とする展示を行い、たからの発見と発見の場となるようつとめた。ふるさと館では、伝統料理の食体験事業を拡充し、住民と来訪者の交流拡大をはかりました。</p> <p>③ 《実施していること》 ・既存の常設展示のほか、体験アートにあわせて三船連携特別展「ここまでわかった日野商人の世界」を同時開催しました。館に入館される方を対象とした特別割引制度を設けました。 ・ふるさと館のHPを委託作成しました。 ④ 協働隊と協働し、食体験事業の情報発信を拡充するとともに、事業の運営体制を確立させました。</p> <p>⑤ 《奥池できていないこと》 ・日野東山館に関する展示が不足しています。</p>	<p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・3館において町のだからを効果的に展示・公開することにより、秘密・観光ルートの確立と、地元住民の地域への愛着の醸成を深めます。 ・食体験事業の実施を通じ、住民による地元の食文化の再発見、地域住民同士の交流促進、地域課題の活用 来訪者・地域住民間の交流促進をはかります。</p> <p>《今後の課題》 ・上記の取り組みが居住・定住につながるようにつとめるため、住民参加型の事業を展開し、人のネットワークを広げていくことが重要であると考えます。</p>	<p>三船連携と交流人口の拡大から、移住・定住にどのようにつなげるのか、具体的な施策を検討してください。 ・食文化はもとより日野の文化の継承としての日野の「だから」の魅力を伝える施策を更に推進してください。</p>	
UT29	30,000人					A	
UT30	31,000人						
H31	32,000人						
目標値 (H31)	32,000人	29,219人	91.3%				

(KPIの見直し内容)

指標名	広承促進施設の利用率		指標名	見直し理由
	前年度	後年度		
見直し理由 計画の初年度において予想を上回る利用率があったため上方修正するものです。	前年度	後年度	見直し理由	
	H28	24,000人	H28	H28
	H29	26,000人	H29	H29
	H30	28,000人	H30	H30
	H31	30,000人	H31	H31



①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	実績	目標	達成率	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
指標名 児童数 (H28) 児童数 153人 理由 生涯学習課 自費							
H28	420人	420人	100.0%	② 日野の歴史遺産を和らげていた。文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」を活用し、日野の代表的な寺に開く講演会・ワークショップを2回開催しました。 ③ 町内5小の6年生児童を対象に、町史ダイジェスト版『ふるさと日野の歴史』を活用した出前授業を実施しました。また、児童が伝統文化に触れ合う機会をつくるため日野町少年少女カナルチャージャー教室を開催しました。	・日野の歴史遺産に関する講演会・学習会を開催し、地域に対する愛着を高め、町史ダイジェスト版『ふるさと日野の歴史』を活用した出前授業をはじめとする「ふるさと学習」の実践を通じ、明日を担う子どもたちの郷土愛を育みます。	・様々な世代の連携した地域づくりに貢献は、住民・移住・移住にこまやかな配慮を念頭に、施策を充実させてください。 ・郷土への愛着、人材育成に結びつく施策を意識してください。	
H29	430人			④ 《実施していること》 ・『ふるさと日野の歴史』を町内外の希望世帯に配布しました。 ・町内5小の6年生児童を対象に、町史ダイジェスト版『ふるさと日野の歴史』を活用した出前授業を実施しました。 ・上記の出前授業のほか、日野・西大宮・根谷小学校においてふるさと学習を開催しました。 ・南北郷佐小学校の教員を対象としたふるさと学習検定を実施しました。 ・一般市民を対象とした文化講座を2回、『ふるさと日野の歴史』をテキストとした出前講座を3回開催しました。 ・児童が伝統文化に触れ合う機会をつくるため日野町少年少女カナルチャージャー教室を開催しました。	《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・講演会や学習会の開催を通じ、地元住民の地域への愛着の醸成を促すとともに、誰もが町の自己紹介をできるような環境づくりにつとめます。 ・ふるさと学習の実施を通じ、子どもたちの郷土愛を育むとともに、多世代間の交流促進をはかります。	B	
H30	440人						
H31	450人						
目標値 (H31)	450人	420人	93.3%				

(KPIの検証内容)

指標名	実績	理由	指標名	実績	理由
ふるさと学習の愛着が体感し、児童数増加が見込めるため、上り修正するものとす。			児童数増加が見込めるため、上り修正するものとす。		
年度	前	後	年度	前	後
H28	170人	420人	H28		
H29	180人	430人	H29		
H30	190人	440人	H30		
H31	200人	450人	H31		

基本目標	出会うと発見で人の流れを作る
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちの「たから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心をもち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や職業の広げを図ります。</li> <li>○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれてよかった、住んで良かったと思える地域への愛着を芽生えさせ、育てていくことにより定住を促進します。</li> <li>○移住希望者の視点に立ち、移住を後押ししてできるような情報発信と支援の充実を図ります。</li> <li>○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるような活用と情報発信を図ります。</li> </ul>
施策	生涯学習の機会の充実

実施内容 公民館をはじめとする社会教育施設において、入門的な学級・講座の開設等により、幅広い層を対象とした学習活動を促進します。

指標名	①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
	目標	実績	達成率	目標	実績	⑥検証結果	コメント	
指標名 基礎値 (H26)	117人							
担当部署	生涯学習課	生涯学習課	146.7%					
07 00-27	120人	176人	146.7%	<p>本年度の町民大学講座は、町民合弁60周年記念事業として取り組み、「いのち」をテーマとし、若い世代にも町民大学講座を知ってもらえる機会を作り、幅広い層の参加を期待するとともに、明日の日野の姿や将来に向かって進める学習の場を広く提供することを目的としました。なお、受講料は無料とし、受講生以外の参加も可能としました。</p> <p>② 施策</p> <p>《実施していること》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来からの歴史を中心とした講座であるが、新講座の追加が困難であることから、歴史にこだわらずテーマを設定し、《実施できていないこと》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・予備や講師の日程などから日野町の「たから」や「良さ」に関連する講座開催に取組み組んでいまいせん。</li> <li>・講座開催の曜日・時間帯により、参加可能な世代が大きく異なるなど、広い世代に参加していただきたいです。</li> </ul> </li></ul> </p> <p>④ 基本目標達成に向けた取り組み</p>	<p>現代的課題や地域課題など住民が学びを必要としているテーマや内容を取り上げ、若い世代も含めた幅広い世代に気軽に参加してもらえよう工夫します。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる考え方を招くのではなく、日野町との関わりがあたり、日野町の魅力などを再認識できたりする講座によるような講師を招きます。</li> </ul> </p> <p>《今後の課題》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業についての広報は、チラシの新聞折込や公民館等への配置が中心であるが、IT技術を活用した周知方法の導入が必要である。</li> </ul> </p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民大学にとらわれない、幅広い層を対象とする学習活動の促進に努めてください。</li> <li>・学習活動の促進にあたっては、まちの魅力と住民の誇りの醸成や交流から定住・移住に結びつける観点で取り組みを進めてください。</li> <li>・ITの活用については、事業関係の広報だけでなく、その事業の内容を伝えるものとなるよう努めてください。</li> </ul>	





①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	定住に関する相談件数	達成率	達成	目標	実績	⑥検証結果	コメント
事業場 (H28) 担当部署 企画課	10 件						
H28	20 件 (累計)	115.0%					
H29	60 件 (累計)						
H30	80 件 (累計)						
H31	100 件 (累計)						
目標値 (H31)	100 件 (累計)	23.0%					
<p>【取り組み状況】</p> <p>①引き続き、定住支援相談窓口の整備を進めるため、定住相談員を配属し、日野で暮らしたいという人の相談に前向きに対応した。相談業務の核となる空き家情報登録制度等の拡充に向けて、庁内関係課と調整し、取り組みました。</p> <p>②トータル的な定住相談窓口として機能を拡充するため、子育て情報および人口ワーキングからの求職情報資料を窓口で設置し、相談に活用しました。</p> <p>③引き続き、空き家情報以外の面の子育て制度等の情報も収集し、日野で暮らしたいという人向けの情報発信の強化を図ります。空き家情報登録制度等について、相談が多い空き家に対応する地域の取得を行内関係部署との連携のもとに、検討を進めます。</p> <p>④「引き継ぎ、地域と連携し、移住・定住される方の受け入れ体制の充実のほか、アフターフォローが図れるよう働きかけを行います。</p> <p>⑤《実施していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録物件がある地域の自治会活動や自治会費などの情報を事例紹介および移住希望者と地元自治会との面談等の情報収集に取り組みました。</li> <li>・先述事例の情報収集を行うとともに、実際に相談もを行い、空き家情報登録制度の周知および新たな制度の構築を行いました。</li> <li>・私たちの「だから」である自然、歴史、人のつながりをより強くし、移住者との関係性を構築し、手として、移住者との関係性を構築しました。</li> <li>④《実施でいていないこと》</li> <li>・移住者が日野で暮らすための情報収集が必須です。</li> <li>・定住相談について、トータル的なサポート（アフターフォロー）を行い、ニーズを定住するための体制づくりに必要ですが、人間的な環境が異なります。</li> </ul>				<p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、空き家情報以外の面の子育て制度等の情報も収集し、日野で暮らしたいという人向けの情報発信の強化を図ります。</li> <li>・空き家情報登録制度等について、相談が多い空き家に対応する地域の取得を行内関係部署との連携のもとに、検討を進めます。</li> <li>・引き続き、地域と連携し、移住・定住される方の受け入れ体制の充実のほか、アフターフォローが図れるよう働きかけを行います。</li> </ul> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの「だから」を生かし、日野町での暮らしがイメージできる環境整備を行うため、関係部署と連携して定住促進事業について検討を進めます。</li> <li>・観光や田舎体験等の多様な交流から移住に結びつけるとともに、移住者を受け入れる地域の理解および協力体制が求められます。</li> </ul>		<p>⑥検証結果</p> <p>A</p>	<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者として日野町民に受け入れられる環境を整えたい。</li> <li>・移住者を受け入れる土壌づくりを引き続き地域に広げていく。</li> <li>・日野町民に対して、日野町に愛着を持ってもらうため、地元住民に対しての日野の良さをアピールする機会をあらゆる形で作ってほしい。</li> </ul>

(KPの昇進し内容)

指標名	定住に関する相談件数	指標名	指標名	指標名
昇進した理由	昇進した理由	昇進した理由	昇進した理由	昇進した理由
年度	前	後	前	後
H28				
H29				
H30				
H31				

まちの「たから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を広げることで交流から移住・定住に結び付き、魅力あるまちをめざします。

基本目標	2
基本内容	<p>出会いと誇りでの流れを作る</p> <p>○まちの「たから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を醸成し、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心をもち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や事業の拡充を図ります。</p> <p>○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれてよかった、住んで良かったと思える地域への愛着を生み出させ、育てていくことにより定住を促進します。</p> <p>○移住希望者の視点に立ち、日野町での暮らしがイメージでき、移住を後押ししてきけるような情報発信と支援の充実を図ります。</p> <p>○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるよう利活用と情報発信を図ります。</p>
実施年	8
実施内容	<p>空き家情報登録制度の周知を図り、定住に結び付けていくため、移住される方に対して町の支援だけでなく、地元自治会と連携した取り組みを推進します。</p> <p>・町内における空き家候補地の分析、調査等を実施することにより、空き家の実態及び管理状況を把握し、空き家情報登録制度に登録可能な空き家を把握します。</p>

実施内容	<p>空き家を活用した定住促進</p>
------	---------------------

目標	90人(県計) 92人(県計) 102.2%
達成率	102.2%

実施内容	<p>①重要業績評価指標 (KPI)</p> <p>空き家情報登録制度での移住・定住者数</p> <p>75人(県計)</p>
実施内容	<p>②</p> <p>空き家情報登録制度の周知と利活用について、行政懇談会や出前講座の機会を活用して、地元自治会に働きかけを行います。空き家情報登録制度のしくみの見直しを行うことで、また、制度の充実として、空き家へ定住する方に対して、空き家改修費用の一部を助成する制度を創設しました。</p> <p>③</p> <p>空き家情報登録制度を推進し、町内の危険な空き家の把握に取り組みました。</p>
実施内容	<p>④</p> <p>《実施していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家へ移住される方と地元自治会の「人と人」のつながりをつくることにより、移住者自らが地域の実態を把握していただくため、移住される前に地元自治会との懇談の機会を設け、相互理解のもとに移住していただいています。</li> <li>地域や各種団体への働きかけ、関係部署との連携により空き家所有者の働きかけを進めるとともに、先述事例の検討や視察を行い充実した利活用を推進してきました。</li> </ul> <p>⑤</p> <p>《今後の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てや就労(就職)関係との連携ができていません。</li> <li>遊休地や空き地等を利活用した、空き家情報登録制度の登録ができていません。</li> <li>《実施が困難なこと》</li> <li>特権階級の解消や就労(就職)支援の充実のほか、地域および空き家所有者の理解等も必要になります。</li> </ul>

実施内容	<p>⑥検証結果</p> <p>A</p>
------	-----------------------

実施内容	<p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施した空き家情報調査に基づき、地元自治会への働きかけのほか、空き家意向調査などにより、所有者への直接的な働きかけを行います。</li> <li>先進事例の研究や先進地視察の結果を踏まえ、空き家情報登録制度の見直しとともに、空き地および空き店舗の利活用についても制度化を図ります。</li> </ul>
実施内容	<p>《基本目標 基本的方向を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き関係部局とも連携して定住促進事業について検討し、移住定住を希望される方に規定したいただける制度の構築を目指すとともに、情報発信の内容も充実させていきます。</li> <li>遊休地や空き地等を利活用した、空き家情報登録制度の拡充に取り組みます。</li> <li>《今後の課題》</li> <li>観光や田舎体験等の多様な交流から移住に結びつけることにも、空き家情報登録制度に対する地域の理解および協働体制が求められます。</li> </ul>
実施内容	<p>コメント</p> <p>・住民自らが人口減少等による衰退を維持するなどの働きかけとして、空き家情報登録制度の活用が進められていくことが望まれます。</p>

①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	空き家情報登録制度での移住・定住者数	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
基礎値 (H26)	75人(累計)						
担当部署	企画課	達成率	目標				
H28	105人(累計)	113人(累計)	107.6%	<p>引き続き、空き家情報登録制度の周知と制度を利用し、行政協議会や出前講座の機会を捉え、実施した空き家情報講座に基づき、地元自治会への働きかけのほか、空き家意向調査などにより所有者への直接的な働きかけを行いました。</p> <p>◎ 地域からの情報収集などにより、空き家情報登録制度のしくみの見直しを行いました。各自治会、制家の作業として、空き家入定住する制度の運用に取組みました。</p> <p>◎ 空き家情報登録制度の拡充に向けて、公益社団法人遊園地建設協会との協定を締結しました。</p> <p>◎ (実施していること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、空き家入定住される方と地元自治会の「人と人」のつながりを大切にする観点から、移住者に対して地域の歴史を把握していただくため、移住される前に地元自治会との懇話会を開催し、相互理解の場を設けています。</li> <li>・移住者を迎える冊子や白紙の観光啓発冊子等により移住意向のある方へ働きかけています。</li> <li>◎ (実施で考えていること)</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田舎体験等で実施された子どもも遊んで帰るに向けて、どうつながっていくべきかの検討を進めています。</li> <li>・子育てや観光(登録)に際する情報提供に取組んでいるものの、組織的な連携体制ができていない。</li> <li>◎ (実施が困難なこと)</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地月会の解消や情報共有の理解等も必要となり、地域および空き家情報共有の理解等も必要となり</li> </ul> </ul> </ul>	<p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の中介にも対応できる空き家情報登録制度の拡充に向けて、公益社団法人遊園地建設協会と連携し、市内の各地建物取引業者に働きかけます。</li> </ul>	◎検証結果	空き家施策を他の施策とどう関連付けていくのかをどう考えていくか。空き家情報登録制度の運用について、検討を進めてください。
H29	120人(累計)					A	
H30	135人(累計)						
H31	150人(累計)						
目標値 (H31)	150人(累計)	113人(累計)	75.3%				

(KPIの見直し内容)

指標名	空き家情報登録制度での移住・定住者数	指標名	見直し理由	
見直し理由	見直し理由	見直し理由	見直し理由	
年度	前	後	前	後
H28			H28	
H29			H29	
H30			H30	
H31			H31	

まちの「たから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を伝えることで交流から移住・定住に結び付き、魅力あるまちをめざします。

基本目標値	2
基本目標	出会いと発見で人の流れを作る
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちの「たから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力を住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心をもち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や産業の拡充を図ります。</li> <li>○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれてよかった、住んで良かったと思える地域への愛着を生み出させ、種々でいていくことにより定住を促進します。</li> <li>○移住希望者の視点に立ち、日野町での暮らしがイメージでき、移住を後押ししてきえるような情報発信と支援の充実を図ります。</li> <li>○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるよう利活用と情報発信を図ります。</li> </ul>
施策値	9

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内における空き地等を利活用し、土地所有者と利用希望者をつなぐことにより、移住と定住を促進します。</li> </ul>
------	--

内部検証		外部検証	
【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
<p>① ② ③ ④ ⑤</p> <p>・先遣地の情報収集等により、空き地情報登録制度のしくみについて示意を図るとともに、更により良い制度となるよう検討しています。</p> <p>・遊休地や空き地等の利活用を図るため、先遣事例の情報収集や視察等を行い、課題や法的な制限等について関係部署と協議を進めています。</p> <p>・法的制限等により、制度化した場合の対応や手続き等の具体的なシミュレーションができていません。</p> <p>・空き地登録については自治体は少ないことにより、法的制限の検証等が関係部署と連携して行い制度の構築を進めていく必要がありそうです。</p> <p>・民間事業者と異なり、町が空き地を紹介するには合理性が求められることから、民間事業者との連携した取り組みについては、検証が難しい状況です。</p>	<p>・先遣事例の研究や先遣地視察の結果を踏まえ、空き地登録の制度化を目指して関係部署との協議を進めます。</p> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係部署とも連携して空き地登録制度の構築を目指します。また、空き地が思い切った情報収集と一体となった情報発信を行うことにより、移住者にも日野町での暮らしがイメージしやすくなるように、地域に愛着を持って住民の定住に結びつくとともに、関係部署と連携して関係部署との協議を進めます。 <p>《今後の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の構築および運用については、様々な法的制限に係る専門知識が求められます。</li> <li>・民間事業者との連携や調整のあり方について、協議が必要です。</li> </ul> </li></ul>	<p>⑥ 検証結果</p> <p>D</p>	<p>・移住者もともとより、住民の定住を促進するための制度構築と情報発信に努めてください。</p>





① 重要業績評価指標 (KPI1)				内部検証		外部検証	
指標名	語学講座の受講者数	達成率	目標	実績	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果
指標値 (H28)	14人						
相当部署	企画推進課						
	目標	達成率	実績	目標	実績		
H28	60人(課 計)	99人(課 計)	165.0%		<p>◎ 多文化共生を推進するポランディアの発掘と確保のため、国際親善協会にて在住外国人との交流の機会づくりや韓国語講座と新たに英会話講座を開催しました。また、多文化共生のリーダーとなる日野町中学生を国際交流都市である韓国釜山に使節団として派遣しました。</p> <p>③ 国際姉妹都市との交流を深めるため、韓国釜山訪問使節団6名を日野祭(5/2~4)に招請しました。</p> <p>④ 釜山訪問使節団を招請し、住民との交流を深めました。</p> <p>⑤ 《実施していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外からの来訪者や日野町に生まれる外国人に、まず日野町のことを知ってもらうために、英語、韓国語、ポルトガル語、中国語の町紹介冊子を作成しました。</li> <li>日野町の本場の良さを知っていただくために、国内に町民とのふれあいをもちょうろため、農産物を体験していただく機会を設け、多文化共生の推進に貢献しています。</li> <li>《実施していないこと》</li> <li>ポランディアを推進しています。</li> <li>日野町在住の外国人同士や町民との交流が充分広がっていません。</li> <li>《実施が困難なこと》</li> <li>外国語が話せるポランディアの継続した確保が難しいです。</li> </ul>	<p>◎ 要に多文化共生を進めるため韓国語講座の他に、引き続き英会話講座を開催します。</p> <p>③ 国際親善協会や中学生との交流により多文化共生を推進するポランディアの発掘に努めます。</p> <p>④ シュタツアルームの丘など民間主体での交流を促進し、地元外国人との交流の機会づくりに取り組みます。</p> <p>⑤ 《基本目標、基本的方向を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、海外からの来訪者や日野町に生まれる外国人に、多言語の町紹介冊子を配布し、活用していきます。</li> <li>国際交流の推進で、交流を通じて発掘したリーダーやポランディアにも在住外国人と地元住民との交流を図り、日野町の良さを再認識できる取り組みを進めます。</li> </ul> <p>《今後の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来訪される外国人にも、日野町在住の外国人にも日野町の良さを実感してもらえるよう、コミュニケーションの検討と町内における多文化共生をどのように進めていくべきかが課題です。</li> </ul>	
H29	90人(課 計)						A
H30	120人(課 計)						
H31	150人(課 計)						
目標値 (H31)	150人(課 計)	99人(課 計)	66.0%				

(KPIの昇進し内容)

指標名	語学講座の受講者数	指標名	指標値
昇進した理由	見直し無し	昇進した理由	見直し無し
年度	前	後	前
H28		H28	
H29		H29	
H30		H30	
H31		H31	

まちの「だから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を広げ、移住に結び付く、魅力あるまちを築きます。

基本目標 出会いと発見で人の流れを作る

○まちの「だから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心をもち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や事業の拡充を図ります。  
○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれよめかかった、住んで良かったと思える地域への愛着を生み出させ、質を上げていくことにより定住を促進します。  
○移住希望者の相対立し、日野町の魅力を伝えるような情報発信と支援の充実を図ります。  
○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるよう利活用と情報発信を図ります。

実施数 11

施策 スポーツによる交流の促進

・スポーツイベントや各種事業を開催するとともに、ニュースポーツの普及と拡大により、さまざまな人がスポーツに親しめる可能性を広げ、参加者の拡大を図ります。

①重要業績評価指標 (KPI)

指標名 (KPI)	内部検証				外部検証	
	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	④検証結果	コメント		
指標名 みんなのスポーツ広場参加延べ人数						
基準値 (120)						
担当部署 生涯学習課						
	実績	目標	達成率	目標	実績	達成率
00 H27	1,269人	1,154人	90.9%			
	施策					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 町民が気軽にスポーツに親しめる場として、日野町スポーツ推進委員が主催となり、「みんなのスポーツ広場」を開催しました。</li> <li>② 開催日時は、町民のできるだけ参加しやすい日時とし、初夏と秋の土曜日の夜間としました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 時期や日時等はほぼ定着しており、継続して実施していきます。</li> <li>④ 4歳未満を参加費無料としていたが、今は未就学児までを参加費無料とします。</li> <li>⑤ 参加者満足度を高めるため、常に新しいニュースポーツを開催していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ みんなのスポーツ広場の開催だけでなく、さまざまな人がスポーツに親しめるような各種事業を推進していく。また、各種事業の推進にあたっては、スポーツを通して交流づくりを意識し、取り組みを進めていく。</li> <li>⑦ 主催の事業だけでなく、町民が主体となったスポーツイベントの支援や情報発信に努めていく。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 《実施していること》 町民が気軽にスポーツに親しめる場として、「みんなのスポーツ広場」を開催しました。</li> <li>⑨ 《実施できていないこと》 ・事業のPRが不足しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ 《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・日野町ホームページや日野町民会館など、新聞折込などあらゆる手段を使って事業をPRしていきます。</li> <li>⑪ 《今後の課題》 ・ポータルウェブの普及拡大に努め、参加者をもっと体育館外にも導く必要があります。</li> </ul>	B			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫ 基本目標と本格的な取り組みをすすめていくこと。</li> <li>⑬ 《実施が困難なこと》 ・1回あたりに参加できる人数が限られていること。 (120~130人が限)</li> </ul>					









①重要業績評価指標(KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	実績	目標	達成率	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
妊婦健診受診回数(一人あたり) 長瀬園 H28 12.7回 福祉保健課 目標							
H28	12.8回	12.8回	100.0%	妊婦健診の費用助成を行ないました。また不妊治療費の一部助成を行ないました。お母さんお父さん教室と、新たにマタニティサロンを愛媛し、妊婦同士で交流しやすい機会をつくりました。	出産に向けての経済的負担の軽減を引き続き行うことで、支援の充実を図ります。妊婦期から出産後にかけてのつながりづくりができる取り組みを進めます。		・妊婦期から産後に把握し、もれないフォローができるように努めてください。 ・特に初産の方への対応は確実にしてください。 ・地域の人や子育て支援センターと連携し、役所(保健師というアロ)が関わるところとの住み分けをしてください。
H29	12.9回			② 《実施していること》 ・全ての妊婦に対して妊婦健診の費用助成を行ないました。また不妊治療を受けている夫婦に対して治療費の一部助成を行ないました。 ・お母さんお父さん教室の内容を一部変更し、父親の育児参加を促す工夫をしました。また、お母さんお父さん教室のつながりをもつてもらうことがマタニティサロンの実施として、新たにマタニティサロンを実施しました。 ④ ・個別に開わりがもてるように、妊婦への電話や訪問等でフォローしています。 ・特にありません。 ・(実施が困難なこと)・特にありません。	《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・妊婦期からの仲間作り、地域とのつながりを作る工夫をしました。 《今後の課題》 ・町全体の妊婦の数が減少傾向であるため、町の課題に合った取り組みが必要であるかどうか検討が必要。	A	
H30	13.0回						
H31	14.0回						
目標値(H31)	14.0回	12.8回	91.4%	基本目標 基本的方向 向えての状況			

(KPIの見直し内容)

指標名	見直し理由	見直しした理由	指標名	見直しした理由	
妊婦健診受診回数(一人あたり)	見直し無し	見直しした理由	妊婦健診受診回数(一人あたり)	見直しした理由	
年度	前	後	年度	前	後
H28			H28		
H29			H29		
H30			H30		
H31			H31		

地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その両方のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が産産や子育てに希望をもてるまちをめざします。

基本目標	3
------	---

結婚・出産・子育ての希望をみんなで作ってかなえる  
 ○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。  
 ○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
 ○子育てサポートセンター等、現状のサービスとニーズの乖離を子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。  
 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

施策No.	3	施策	乳幼児健診における保健指導の充実
-------	---	----	------------------

施策内容  
 ・乳幼児健診の受診を通じて、出産後の母子のサポートを図ります。

指標名 基礎値 (1/20) 担当部署	①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
	計画	実績	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
乳幼児健診受診率	98%				乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に 取り組みました。	引き継ぎ、乳幼児健診等の機会を通じて、 子育ての相談に前向きなことで、安心して子 育てができるよう支援していきます。		・妊娠から出産後までの切 れ目の無いサポートとなる よう努めてください。 ・地域のつながりの中で、 出産後のサポートを受けら れるよう取り組みを進めて ください。
	98.0%	97.5%	99.5%		《実施していること》 ・全ての乳幼児を対象とした乳幼児健診 (4ヶ月～3歳半：計5回)の機会を通じ て、多時期に応じた相談支援を行いまし ました。健診に採にくい状況等があれば、受診 勧奨や相談を行いきめ細かな対応を実施し ました。 《実施できていないこと》 ・特にありません。 《実施が困難なこと》 ・特にありません。	《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・妊娠前から子育て期まで、切れ目のない 支援をさらに進めていく必要があります。 《今後の課題》 ・妊娠中と、出産後早期のかかわりの充実 を進めていきます。	B	

①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	乳幼児健診受診率	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
基準値 (H26)	98%						
担当部署	福祉保健課	受診	達成率	目標	実績	達成率	達成率
H28	98.0%	97.8%	99.8%	② 乳幼児健診の機会を通じて子育ての相談に 取り組みました。	引き継ぎ、乳幼児健診等の機会を通じて、 子育ての相談に励むことで、安心して子 育てができるよう支援していきます。		・ どれのない妊産婦の把握 に努め、その後もタイトの充 つに努めたい。また、 ・ 地域の子育て力を高め、 つなぐの充実を図る。 ・ 保健師がプロの仕事がで きるように環境を整えてく ださい。
H29	98.0%			③ 《実施していること》 ・ 全ての乳幼児を対象とした乳幼児健診 (4ヶ月～3歳半：計5回)の機会を通し て、各時期に応じた相談支援を行いまし た。健診に来にくい状況等があれば、受診 勧奨や相談を行いきめ細かな対応を実施し ました。	《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・ 妊娠前から出産前後の関わりを活かし て、乳幼児健診の場でも個別に相談に応じ て、ニーズに合った対応ができるように努 めます。	B	
H30	99.0%			④ 《実施できていないこと》 ・ 特にありません。	⑤ 《今後の課題》 ・ 必要な保健指導やニーズに合った相談が できるように努めていきます。		
H31	100.0%			⑥ 《実施できていないこと》 ・ 特にありません。			
目標値 (H31)	100.0%	97.8%	97.8%				

(KPIの見直し内容)

指標名		乳幼児健診受診率		指標名		見直し理由	
年度	前	後	年度	前	後	年度	理由
H28			H28			H28	
H29			H29			H29	
H30			H30			H30	
H31			H31			H31	

基本目標No. 3

地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々ニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。

基本目標 結婚・出産・子育ての希望をみんなで作ってかなえる

- 結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。
- 出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。
- 子育てサポートセンター等、現状のサービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。
- 育児休業の取得促進や多様な働き方などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

施策No. 4 施策 育児所の整備

実施内容 ・子育て環境の向上を図るため、保育所の整備を図ります。

外部検証		内部検証	
◎検証結果	コメント	【取組み状況】	【今後の取組み】
◎検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠、出産後から切れ目の無いサポートに努め、子育て負担の軽減となるよう取組みを進めてください。</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て環境の充実のため保育所あおぞら園・保育園分園を設け保育所の整備を行いました。</li> <li>・桜台幼稚園と保育所さくら園の合同運営を始めました。児童の生活の場となる施設の充実のため保育所さくら園の給食室、駐車庫、電話設備の改修をおこないました。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施していること                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育所の既存施設の有効活用を庁内検討委員会で協議し、進めています。</li> <li>・実施できていること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育ニーズの増加や多様化に対応するための保育サービス充実ができています。</li> <li>・（一時預かり、延長保育等の拡充）</li> </ul> </li> <li>・実施が困難なこと                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の有効利用を進めています。施設改修や保育士の確保など課題があります。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の検討する場において子育て環境の向上を図るため幼稚園及び保育所の体制整備の検討を引き続き進めます。</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・《基本目標、基本的方向を踏まえて》                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育ニーズに応じた施設整備に努めます。また、地域に開かれた保育所として多様な保育サービスを提供できるよう、機能の充実に努めます。</li> </ul> </li> <li>・《今後の課題》                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育所の一体的利用を進めるため認定こども園化を含め検討が必要です。</li> <li>・待機児童の解消を進めるにおいて保育士不足が課題となっております。</li> </ul> </li> </ul>
◎検証結果	B	<p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標</li> <li>・基本的方向</li> <li>・面を踏まえての状況</li> </ul>	

① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証		
指標名 基準値 (H28)	待機児童数 14人	実績	目標	達成率	【取り組み状況】	【今後の取組】	⑥検証結果	コメント
H28	13人	13人	100.0%		<p>② 子育て環境の充実、待機児童解消のため平成29年4月から第二わらべ保育園の定員を20名増やし取組を進めました。</p> <p>③ 平成29年4月から桜谷幼稚園と保育園を併設し、園舎をひとつの施設とした併設こども園（幼保連携型認定こども園）を開設しました。</p> <p>④ 園の生活の場となる施設の充実のため保育園とこども園の調理室にエアコンを設置、駐車場の整備を行いました。</p> <p>⑤ 《実施していること》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園、保育園の既存施設の有効活用を市内検討委員会等で協議し進めています。</li> <li>《実施できていること》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園サニタリーの増加や多様化に対応するための床高サニタリーの充実ができています。</li> <li>・ 待機児童解消に向け、延長保育等の充実（一時預かり）を進めています。</li> <li>・ 新たな取組が必要で、施設が困難な状況です。</li> </ul> </li> </ul> </p>	<p>・ 市内の検討の場において子育て環境の向上を図るため幼稚園及び保育園の体制整備の検討を引き続き進めます。</p> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園、幼稚園に合わせた施設整備に努めます。また、地域に開かれた保育園として多様な保育サービスが提供できるよう、機能の充実にも努めます。</li> </ul> </p> <p>《今後の課題》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の一体的利用を進めるため、認定こども園化を含め検討が必要です。</li> <li>・ 待機児童の解消を進めるにおいて保育士不足が課題となっております。</li> </ul> </p>	<p>・ 保育園ニーズが高まる中、地域で保育所も支えるという観点から検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養父母や地域はうっとうしがられるもの。その段階を踏まえて検討していきます。</li> </ul>	
H29	16人							
H30	8人							
H31	0人							
目標値 (H31)	0人	13人	0.0%					

(KPIの見直し内容)

指標名 見直し理由	待機児童数		指標名 見直し理由	待機児童数	
	前年度	後年度		前年度	後年度
H28	8人	13人	H28		
H29	5人	16人	H29		
H30	3人	8人	H30		
H31	0人	0人	H31		

基本目標 結婚・出産・子育ての希望をみんまで支えてかなえる  
 ○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。  
 ○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
 ○子育てサポート等、現状のサービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通して、子ども・子育て支援の充実を図ります。  
 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通して、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

施策 5 子育て期間中の保護者の交流促進  
 ・気軽に親子が集える場の提供や支援者の育成に努め、保護者および子育てサロン間の密接な情報交換を図ります。

外部検証		内部検証	
◎検証結果	コメント	【取組み状況】	【今後の取組み】
◎検証結果	・支援者の育成についても取り組みを進めてください。 ・施策の今後の取組みについて、継続だけでなく施策の充実にも努めてください。 ・妊娠、出産、保育など一切れ目がありません。	<p>① 地域の子ども・子育て支援情報センター、提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点（日野町地域子育て支援センター、つどいのひろばほけっこ）として機能するとともに既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら地域活動を展開します。</p> <p>② 地域の子ども・子育て支援情報センター、提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点（日野町地域子育て支援センター、つどいのひろばほけっこ）として機能するとともに既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら地域活動を展開します。</p> <p>③ 地域の子ども・子育て支援情報センター、提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点（日野町地域子育て支援センター、つどいのひろばほけっこ）として機能するとともに既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら地域活動を展開します。</p>	<p>【今後の取組み】</p> <p>引き続き、基本的方向を踏まえて、日野町地域子育て支援センター、つどいのひろばほけっこの充実を図ります。</p> <p>《今後の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅のみで子育てをしている親子への支援が必要である。</li> <li>・さまざまな悩みに対して対応ができるよう利用しやすい相談方法や専門性の向上を図りながら各相談機関への連携の充実が必要である。</li> </ul>
◎検証結果	B	<p>④ 実施していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達施設等を開発し子育て世帯の悩みを直接受け、支援を行います。（日野町地域子育て支援センター、つどいのひろばほけっこの実施。）</li> <li>《実施できていないこと》</li> <li>・在宅のみで子育てをしている親子への支援が実施できていません。</li> <li>・父親の参加を促進するためのさらなる土・日曜日の開設ができていません。</li> </ul> <p>⑤ 《実施が困難なこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤独感、不安感をもつ親子へのいきといた支援が困難です。</li> <li>・在宅で子育てをしている保護者の参加の拡大が困難です。</li> </ul>	<p>④ 実施していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達施設等を開発し子育て世帯の悩みを直接受け、支援を行います。（日野町地域子育て支援センター、つどいのひろばほけっこの実施。）</li> <li>《実施できていないこと》</li> <li>・在宅のみで子育てをしている親子への支援が実施できていません。</li> <li>・父親の参加を促進するためのさらなる土・日曜日の開設ができていません。</li> </ul> <p>⑤ 《実施が困難なこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤独感、不安感をもつ親子へのいきといた支援が困難です。</li> <li>・在宅で子育てをしている保護者の参加の拡大が困難です。</li> </ul>



地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまををばせします。

基本目標  
結婚・出産・子育ての希望をみんなで作ってかええる  
○結婚に向けた男女の出会場の創出を図ります。  
○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
○子育てサポートサービス、現状のサービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。  
○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

実施地  
子育て支援員の確保

実施内容  
・子ども・子育て支援新制度に基づく子育て支援員研修を開催し、支援の担い手となる子育て支援員の養成を図ります。

①重要業績評価指標 (KPI)

指標名	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
子育て支援員の人数	0人					
子育て支援員						
子ども支援員						

実施地	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	内部検証		外部検証	
			◎検証結果	コメント	◎検証結果	コメント
② 実施	<p>小規模保育・家庭保育・ファミリーサポートセンター・一時預かり・放課後児童クラブ・地域子育て支援拠点等の事業支援の担い手となる人材を確保します。</p> <p>《実施していること》 ・滋賀県が実施しています各種研修に参加し知識の習得をします。 ・実施できていること》 ・滋賀県が行う子育て支援員養成研修に参加していただくために研修情報を町内広く周知できていること。 ・研修を受けて習得した知識・技能を地域の実情やニーズに即した子育て支援につなげられています。</p> <p>④ 基本目標を達成するための状況</p>	<p>子育て支援員養成講座への参加の促進を図ることで多くの支援員を確保し若い世代のニーズにあった多様な支援を提供できよう取り組みます。</p> <p>③</p>	B	<p>子育てに係る負担軽減につながる取り組みをばせします。 ・支援員養成研修等の周知を図るとともに、町内の子育て支援員の把握に努めてください。</p>		
④	<p>《実施が困難なこと》 ・本町が困難な方へのつながりをつくることなどが困難です。</p>	<p>《基本目標を達成するための方向性を踏まえて》 ・支援員養成研修の情報を広く周知し、支援員確保に努めます。 ・地域とのつながりを確保するなかで、困難な状況の把握に努め支援につなげます。 ・若い世代への支援ニーズの把握に取り組みます。</p> <p>⑤ 《今後の課題》 ・子どもの支援の担い手となる支援員の確保が必須です。 ・研修を受けて習得した知識・技能を地域子育て支援拠点事業（専任職員）、放課後児童クラブ（補助員）、ファミリーサポートセンター事業（提供員）、利用者支援事業（専任職員）など実践につなげるよう進めます。</p>				

① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	子育で支援員の人数	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥ 検証結果	コメント
基礎値 (H26)	0人						
担当部署	子ども支援課						
H28	12人	75.0%	9人	<p>② 小規模保育・家庭的保育・ファミリーサポートセンター・一時預かり・放課後児童クラブなど、地域子育て支援拠点等の事業支援の担い手となる人材を確保します。</p> <p>③ 《実施していること》 ・支援員が実施していただきます各種研修に参加し知識の習得をします。 ・施設で行う子育て支援員養成研修に参加していただきます。 ④ 《実施できていないこと》 ・研修員が研修に参加していただくために研修情報を町内広く周知できていません。 ⑤ 《今後の課題》 ・子どもたちの支援の担い手となる支援員の拡充が必要です。 ・研修を地域の実情やニーズに対応した子育て支援につなげられています。</p> <p>《実施が困難なこと》 ・本当に支援が必要な方へのつながりをつくるのが困難です。</p>	<p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・支援員養成研修の情報を広く周知し、支援員確保に努めます。 ・地域とのつながりを確保するなかで、困難家庭の把握に努め支援につなげます。 ・若い世代への支援ニーズの把握に取組みます。 《今後の課題》 ・子どもたちの支援の担い手となる支援員の拡充が必要で、 ・研修を地域の実情やニーズに対応した子育て支援につなげられています。 ・研修員が研修に参加していただくために研修情報を町内広く周知できていません。 ⑤ 《今後の課題》 ・子どもたちの支援の担い手となる支援員の拡充が必要です。 ・研修を地域の実情やニーズに対応した子育て支援につなげられています。</p>	B	<p>子育て支援員の資格が取得できることを、町内全体に周知して、子育て支援員（子育ての知識をもつ人）を増やすことを考えてください。 ・おじいちゃんやおばあちゃんも支援員になってもらって、地域のつながりを深められる雰囲気になるよう努めてください。</p>
H29	13人						
H30	14人						
H31	15人						
目標値 (H31)	15人	80.0%	9人				

(KPIの見直し内容)

指標名	子育で支援員の人数		指標名		指標名	
	前	後	見直し理由	年度	前	後
H28	7人	12人	支援員の発着する子育て支援員研修を機能的に実施しました。今後も継続的に研修に参加し支援員の確保に	年度	H28	H29
H29	8人	13人		年度	H28	H29
H30	9人	14人		年度	H29	H30
H31	10人	15人		年度	H30	H31

地域をつなかりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が産後や子育てに希望をもてるまちをめざします。

基本目標  
結婚・出産・子育ての希望をみんなで作ってかなえる

基本的方向  
○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。  
○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
○子育てサポートメニュー等、現状のサービスとの連携や子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。  
○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

施策No. 7  
施策  
ファミリーサポートセンターの整備

施策内容  
・保護者の都合により、一時的に家庭で保育できない場合の支援としてファミリーサポートセンターを整備します。

目標名 基準値 (H26) 担当部署	①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
	ファミリーサポートセンターの整備数	提供登録会員数	依頼登録会員数	依託登録会員数	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	④検証結果	コメント
0ヶ所	0人	0人	0人	0人	児童の預かりを望むたい旨と当該支援を行いたい者との相互援助活動の支援を行うセンターファミリーサポートセンターの設立に向けた準備を実施しました。	・ファミリーサポートセンターを設立し支援のための運営方法・体制を確立します。		・ファミリーサポートセンターの運営については、ニーズを把握するとともに、地域ごとのつながり方を検討し、取り組みを進めてください。
0ヶ所	0人	0人	0人	0人	② 〈実施していること〉 ・ファミリーサポート事業の説明と児童の預かりを望むたい会員と支援を行う協力会員の登録を進め協会の資格研修を行いました。 ・ファミリーサポートセンター設立のため事務所の開設準備を行いました。	③ 〈基本目標、基本的方向を踏まえて〉 ・ファミリーサポートセンター支援活動の運営確立を図ります。		
0ヶ所	0人	0.00%	0人	0人	④ 〈実施できていないこと〉 ・具体的な支援活動は平成28年度から実施となります。 〈実施が困難なこと〉 ・特にありません。	⑤ 〈今後の課題〉 ・会員の登録を進めていく上で個人情報取り扱い扱い、実際に活動する内容の確立は平成28年度からとなります。	C	



地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々ニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が活躍や子育てに希望をもてるまちをめざします。

基本目標 結婚・出産・子育ての希望をみんなが支えてかええる

- 結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。
- 出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。
- 子育てサポートセンター等、現状のサービスや子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。
- 育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

基本的方向 ○子育ての希望をみんなが支えてかええる

施策⑧ 施策 交流できる場の充実

施策内容 ○既存の公園や施設等を活用し、親子や多世代が交流できる場を整備します。

①重要業績評価指標 (KPI)

指標名	実績	目標	達成率	単位
交流できる場の整備数	0ヶ所	0ヶ所	0.0%	ヶ所

実施状況	内部検証		外部検証	
	【取り組み状況】	【今後の取り組み】		
② 施策	<p>・既存の公園や施設で交流できる場所について、どのような内容がほしいのか検討を行いました。親子や多世代が交流できる仕組みについては、検討ができていません。</p> <p>③</p>	<p>・交流できる場所として、どのような内容がほしいのかを、町だけでなく子育て世代と一層になって検討を進めます。</p> <p>④</p>	<p>⑤</p>	<p>⑥検証結果</p> <p>コメント</p> <p>・施策を通じた子育て世代との関わりで、未来の希望につながるように努めてください。</p>
④ 基本目標達成に向けた取り組み	<p>《実施していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流できる場所を通して、地域でのつながりが築かれるように場所について、検討を行っています。</li> <li>《実施できていないこと》</li> <li>・交流できる場所を整備するにあたってニーズの把握ができていません。</li> <li>《実施が困難なこと》</li> <li>・特にありません。</li> </ul> <p>⑤</p>	<p>《基本目標 基本的方向を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の関連部署と連携し、交流できる場所を確保し、様々なコミュニティの交流から子育てに際する負担の軽減につながる可能性を検討します。</li> <li>・対象となる住民が中心となって企画・検討されるように工夫して取り組みを進めます。</li> </ul> <p>⑥</p>	<p>⑦</p>	<p>⑧</p>

①重要業績評価指標(KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	達成率	達成率	達成率	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
交流できる場の整備数 (H26)	0ヶ所	0ヶ所	0.0%	<p>②</p> <p>関係部署により、既存の公園や施設で交流できる場所の検討とともに、各施設でどのような内容が求められているかなど、子育て中の親などからヒアリングを行いました。</p> <p>③</p> <p>《実施していること》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の子育て広場（国けつこ）において、地域との交流や多世代との交流の機会をつくっています。</li> <li>・交流できる場所を通して、世代間交流や地域のつながりが深められるように、場所の検討を行っています。</li> <li>・《実施できていること》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流できる場所を整備するにあたっては、二一歳の把握ができていません。</li> <li>・また、対象となる世代の方々が主体的に参画し協議される機会がとれていない。</li> <li>・《実施が困難なこと》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政的な課題。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </p>	<p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流できる場所として、どのような内容が心ざわしいのかを、町だけでなく子育て世代と一緒に検討を進めます。</li> <li>・交流の場として核となる公園の現在の活用状況等をふまえ、いかに子育て世代が暮らしやすく、多世代の交流がしやすい空間となるかを対象世代とともに検討します。</li> </ul> <p>④</p> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる住民が中心となって企画・実施されるように工夫して取り組みを進めます。</li> </ul> </p> <p>⑤</p> <p>《今後の課題》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や子育て世代が交流しやすい場所として、地域住民に認知されるよう整備までに行き届くように多くの住民に届けてもらう様々な取り組みが必要です。</li> </ul> </p>	◎検証結果	<p>再度二一歳の把握に努め、深い交流することや地域のつながりが深まり、切れ目のない支援となる仕組みづくりに努めてください。</p>
H28	0ヶ所	0ヶ所	0.0%				
H29	0ヶ所	0ヶ所	0.0%				
H30	1ヶ所	1ヶ所					
H31	1ヶ所	1ヶ所					
目標値(H31)	1ヶ所	0ヶ所	0.0%				

①重要業績評価指標(KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	達成率	達成率	達成率	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
交流できる場の整備数 (H26)	0ヶ所	0ヶ所	0.0%	<p>②</p> <p>関係部署により、既存の公園や施設で交流できる場所の検討とともに、各施設でどのような内容が求められているかなど、子育て中の親などからヒアリングを行いました。</p> <p>③</p> <p>《実施していること》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の子育て広場（国けつこ）において、地域との交流や多世代との交流の機会をつくっています。</li> <li>・交流できる場所を通して、世代間交流や地域のつながりが深められるように、場所の検討を行っています。</li> <li>・《実施できていること》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流できる場所を整備するにあたっては、二一歳の把握ができていません。</li> <li>・また、対象となる世代の方々が主体的に参画し協議される機会がとれていない。</li> <li>・《実施が困難なこと》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政的な課題。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </p>	<p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流できる場所として、どのような内容が心ざわしいのかを、町だけでなく子育て世代と一緒に検討を進めます。</li> <li>・交流の場として核となる公園の現在の活用状況等をふまえ、いかに子育て世代が暮らしやすく、多世代の交流がしやすい空間となるかを対象世代とともに検討します。</li> </ul> <p>④</p> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる住民が中心となって企画・実施されるように工夫して取り組みを進めます。</li> </ul> </p> <p>⑤</p> <p>《今後の課題》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や子育て世代が交流しやすい場所として、地域住民に認知されるよう整備までに行き届くように多くの住民に届けてもらう様々な取り組みが必要です。</li> </ul> </p>	◎検証結果	<p>再度二一歳の把握に努め、深い交流することや地域のつながりが深まり、切れ目のない支援となる仕組みづくりに努めてください。</p>
H28	0ヶ所	0ヶ所	0.0%				
H29	0ヶ所	0ヶ所	0.0%				
H30	1ヶ所	1ヶ所					
H31	1ヶ所	1ヶ所					
目標値(H31)	1ヶ所	0ヶ所	0.0%				

(KPIの昇進し内容)

指標名	昇進した理由	年度	前	後
見直し理由	見直し理由	年度	前	後
H28	H28	H28		
H29	H29	H29		
H30	H30	H30		
H31	H31	H31		

【評価が低いままのことに対しての懇話会からの再コメント】

- ・評価が低いままです。
- ・切れ目のない支援を作るサイクルが必要で、どのよう仕組みづくりに取り組むのか、改善案を示して下さい。

【担当課からのコメント】

- ・地域のつながりを深める中で、サポートを受けた人が、後にサポートをすする側になっていくようなサイクルを作り、交流の中で住民ニーズを充足し合い、地域の中で切れ目のない支援ができる仕組みづくりに向けて関係課で連携をとり具体的に検討に入ります。

施設策 策 証 シ ー ト

日野町くらし支えいとづくり総合戦略

地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が産産や子育てに希望をもてるまちをめざします。

基本目標	3
基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんばで支えてかへえる

〇結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。  
 〇出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
 〇子育てサポートセンター等、現状のサービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。  
 〇育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

施策	9	施策	福祉医療制度の実施
----	---	----	-----------

・どの子も安心して医療を受けられるよう、福祉医療制度を実施します。

外部検証		内部検証	
⑥検証結果	コメント	(今後の取り組み)	(今後の取り組み)
<p>福祉医療制度の業務を通じて、子育ての負担軽減につなげる新たな施策が検討できる場合は、他部署との連携により推進してください。</p>	<p>平成28年10月1日から対象者を義務教育終了まで拡大します。(所得制限なし。通院：1診療報酬明細書あたり500円の自己負担有。入院：自己負担無)</p>	<p>小学1～3年生の対象者が、保険診療を受けた際の自己負担分について助成しました。(所得制限なし。通院：1診療報酬明細書あたり500円の自己負担有。入院：自己負担無)</p> <p>10月1日から小学4年～6年生まで対象者を拡大しました。(入院については、義務教育終了まで助成しました。中学生：償還払い)</p>	<p>《実施していること》                      ・対象範囲を小学6年生まで拡大しました。                      《実施できていないこと》                      ・特にありません。                      《実施が困難なこと》                      ・特にありません。</p>
B		<p>④ 基本目標 基本的方向を踏まえての状況</p>	<p>⑤</p>



基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。</li> <li>○出産に向けた負担の軽減により支援の充実を図ります。</li> <li>○子育てサービス等、現状のサービスを通じた、関係者の連携を図ります。</li> <li>○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。</li> </ul>
施策No.	10
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所に通園している子どもたちの支援を療育施設の心理士などが、保育所の保育士とともに支援を行います。</li> </ul>

内部検証		外部検証	
【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
<p>② 施策</p> <p>《実施していること》 ・ 県内で訪問事業の実施に関する検討を行ってまいりました。</p> <p>《実施できていないこと》 ・ つながりのない子へのアプローチが実施できていません。</p> <p>④ 基本目標 基本的方向性を踏まえての状況</p>	<p>訪問事業の実施について検討を行ってまいりました。</p> <p>③</p> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・ 療育が必要な子ども等への支援の充実を図ることにより親の負担の軽減につなげます。</p> <p>《今後の課題》 ・ 事業の対策者、実施方法等について、さらに協議していく必要があります。 ・ 親のニーズの把握と小学校へのスムーズな移行が必要で、地域のつながりの中で支援の届いていない支援の必要な子どもの把握が必要です。</p>	◎	<p>・ 保護者が子どもへの支援を利用しやすくするよう、啓発や仕組みづくりを進めてください。</p>

① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	訪問児童数	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
基準値 (H26) 児童数 0人	0人						
対象指標 子ども支援課							
H28	3人(計)	100.0%	3人(計)	<p>平成29年度からの保育所等訪問事業の本格実施に向け、後期にもモデル事業として実施し検証を行いました。</p> <p>② 施策</p> <p>③</p> <p>《要していること》 ・支援の在り方を検討するため、県内の先進地での職員研修を行いました。 ・本相実施に向け、市内の保育所、幼稚園に事業の周知をしました。 ・滋賀県に保育所等訪問支援事業の事業者登録を行いました。 ・庁舎内の乳幼児期の発達支援担当者と定期的に会議を行いました。 ④ 基本目標 基本的能力 向上を掲げ ています。</p> <p>⑤</p> <p>《実施できていないこと》 ・サービスクレジットシステム入力が出来ていません。 《実施が困難なこと》 ・訪問支援員には、専門的な知識、技術、経験が必要であり、児童発達支援とともに事業実施体制を整える必要があります。</p>	<p>平成29年度の実施に向けて体制を整えます。</p> <p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・園や関係機関との連携を進めることで、療育が必要な子どもへの支援を充実させます。</p> <p>《今後の課題》 ・子どもの発達支援の場は複数あり、児童発達支援事業やことばの教室・相談など、他の発達支援の場と協働をしながら、子どもにとって必要な支援の場を検討していくことが課題です。</p>	A	<p>障がいのある子どもへの支援を保護者が利用しやすいということが最大の課題です。このようにしくみを作るのが検討して欲しい。</p> <p>・子どもの障がいを知った段階から、親戚や近所の人などに相談し、支援の場を確保し、適切な支援を受けることが必要です。</p> <p>・ハンディキャップをもっているか、いかに生活に支障を及ぼしているか、といったことが、親戚や近所の人などに相談し、支援の場を確保し、適切な支援を受けることが必要です。</p>
H29	20人(計)						
H30	30人(計)						
H31	40人(計)						
目標値 (H31)	40人(計)	7.5%	3人(計)				

(KPIの昇進し内容)

指標名	訪問児童数	達成率	目標	昇進した理由
昇進した理由	昇進した理由			
年度	前	後	前	後
H28				
H29				
H30				
H31				

地域のつながりを深める中で、裾裾から子育てまで、その時々ニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が活躍や子育てに希望をもてるまちをめざします。

**基本目標** 結婚・出産・子育ての希望をみんなできえかええる  
 ○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。  
 ○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
 ○子育てをサポートする、担持のサービスや子育てに係る負担の軽減などを進めて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。  
 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを進めて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

**施策** 11 施策 子どもの読書活動推進

**施策内容** ・保護者やボランティア、地域住民が連携し、子どもの成長段階に応じた読書活動を推進します。

①重要業績評価指標 (KPI)

指標名	学校図書館の派遣校数	読書館
基準値 (H26)	6校	852冊
担当部署	図書館	図書館

実施年度	実績	達成率	目標
H27	6校	100.0%	852冊
			865冊
		101.5%	

内部検証		外部検証	
【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
<p>② 学校図書館司書を4名体制とし、兼任はあたるものの町内小・中学、6校に派遣しました。おはなしボランティア講座や学校図書館での貸出しに取り組まれました。</p>	<p>子どもの豊かな成長に関わる多くの町民の方々と共に、「生きる力」として読書を即全体に広げ、本に親しむことが当たり前のこととなる日野町をめざします。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者やボランティア、地域住民との連携を更に拡げ、読書の推進に努めてください。</li> <li>・保護者が子ども読書活動に関わる機会づくりを進めることにも、子ども読書活動を通じて、子育ての希望につながるよう、読書の推進に努めてください。</li> </ul>
<p>③ 実施</p>	<p>《実施していること》                  ・乳幼児から中学生までの子どもたちを対象に、それぞれの発達に合わせた読書活動や読書講座を開催しています。読書が幼稚園や保育園へでかけて、あるいは園から来館した子どもたちやおはなしボランティアとも協力して読書推進業務を進めています。                  《実施できていないこと》                  ・妊婦中の夫婦、未就学児、学童保育への取組みがあまり実施できていません。子どもも大人も共に地域全体で読書に親しむ場づくりが進んでいません。                  ・実施が困難なこと、特にありません。</p>		
<p>④ 基本目標達成に向けた取り組み</p>	<p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》                  ・乳幼児のいる家庭への取り組みや図書館来館時の読書サービス、移動図書館サービスを受託していく予定です。またおはなしボランティア講座を開催し、子どもたちにもおはなしの楽しさを伝える予定です。                  《今後の課題》                  ・町内小・中学校に派遣する学校司書の専門性の向上や、おはなしボランティア、読書原簿の整備とスキルアップが課題です。</p>		

① 重要業績評価指標 (KPI1)				外部検証	
指標名	学校の数	達成率	実績	目標	外部検証
学校の数	6校				
指標値 (H28)	852冊				
目標値	852冊				
指標名	学校の数	達成率	実績	目標	外部検証
H28	6校	100.0%	950冊	839冊	86.3%
H29	6校		1,050冊		
H30	6校		1,200冊		
H31	6校		1,300冊		
目標値 (H31)	6校	100.0%	1,300冊	839冊	64.5%

  

内部検証		外部検証	
【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑥検証結果	コメント
<p>① 市内小・中・高、6校に実施しました。兼任のあるものをおぼろげにボランティア講座の開催や学校図書館での貸出開始に取り組みました。図書館での乳幼児向けの読み聞かせ、1日1冊「読むこと」での読み聞かせの奨励のほか、平成28年度は親子一緒に楽しむわらわらへの研修会開催、さらに乳幼児連れで来館した親子向けの読書ボランティアを、子育て支援ボランティアの協力を得てスタートしました。3月末には市内の幼稚園を対象に移動図書館サービスも開始しました。</p> <p>② 実施</p> <p>③</p> <p>④ 基本目標達成率を向上させるため、市内小・中・高、6校に実施しました。兼任のあるものをおぼろげにボランティア講座の開催や学校図書館での貸出開始に取り組みました。図書館での乳幼児向けの読み聞かせ、1日1冊「読むこと」での読み聞かせの奨励のほか、平成28年度は親子一緒に楽しむわらわらへの研修会開催、さらに乳幼児連れで来館した親子向けの読書ボランティアを、子育て支援ボランティアの協力を得てスタートしました。3月末には市内の幼稚園を対象に移動図書館サービスも開始しました。</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>	<p>子どもの聲がなほ寂かに残る多くの町民の方々と共に、「生きること」としての読書を通じて、本館に親しむことが多く前よりなるとなるとは喜ばれます。</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>	A	<p>・関係先と連携し、移動図書館サービスも含め、地域全体で読書に親しむ環境をつくる施策の推進をしてください。</p> <p>・はなはな中への取組みを後述所としてください。</p>

(KPIの見直し内容)

指標名	学校の数	指標名		指標名	
		見直し理由	見直し無し	見直し理由	見直し理由
年度	前	後	前	後	前
H28			H28		H28
H29			H29		H29
H30			H30		H30
H31			H31		H31



① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	取内企業の有給休暇取得率			[取り組み状況]	[今後の取り組み]	⑥検証結果	コメント
基準値 (H26)	43.4 %						
現当部職 商工観光課							
目標	45.0 %	42.9 %	95.3%	② 企業懇談会、企業訪問、労働講座および人権研修会等の機会を通じて、女性活躍推進法やワーク・ライフ・バランス、イクボスなど、誰もが働きやすい職場環境づくり等について啓発を行うとともに、取内企業の有給休暇取得率の向上についてヒアリングを行いました。 ③ 農村女性グループの活動を支援しました。	③ 引き続き、企業懇談会、企業訪問、労働講座および人権研修会等の機会を通じて、ワーク・ライフ・バランス、イクボス、環境づくり等について啓発を行うとともに、取内企業の有給休暇取得率の向上に向けて働きかけを行います。 ④ 引き続き、農村女性グループの活動を支援します。	⑥検証結果	・働く人にとってどうなのかという視点で、具体的に行政ができてきたことと企業での働き方を見直す取り組みをすすめてください。 ・農林水産省と連携をいただき、取り組みをすすめてください。
目標	47.0 %			④ 《実施していること》 ・企業・専業主婦等が働きやすい職場環境づくりの取組や様々な休暇取得等の取組を推進し、多様な働き方について、人権研修会等を開催し、働きやすい職場環境づくりの取組を推進しています。 ⑤ 《実施していること》 ・企業訪問等により、誰もが働きやすい職場環境づくりの推進を行っています。ワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた具体的な取組を推進しています。	《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた企業への働きかけが重要です。このため、企業懇談会、企業訪問、労働講座および人権研修会等の機会を通じて、継続した啓発に取り組んでいます。 ④ 《今後の課題》 ・誰もが働きやすい職場環境づくりを実現するためには、企業への働きかけが重要ですが、啓発および情報発信だけでは不十分です。ワーク・ライフ・バランス等の実現のためには、企業風土や企業の意識改革が重要であるとともに、医務や介護サービスの拡充も必要です。	B	
目標	49.0 %						
目標	50.0 %						
目標	50.0 %	42.9 %	85.6%				

(KPIの見直し内容)

指標名	取内企業の有給休暇取得率	指標名	見直し理由
見直し無し		見直し理由	
年度	前	年度	前
年度	後	年度	後
H28		H28	
H29		H29	
H30		H30	
H31		H31	

地域をつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々ニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまをめざします。

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
------	--------------------------

○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。  
 ○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
 ○子育てサポートセンター等、現状のサービスや子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。  
 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

施策名	13	施策	学童保育所の整備
-----	----	----	----------

・保育ニーズの多様化に対応するため、地域ボランティアなど幅広い人材の確保・育成に努め、児童福祉の推進体制の確立を図ります。

指標名	①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
	数値	達成率	目標	実績	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
学童保育所の整備数	6ヶ所							
担当部署	子育て支援課	達成率	目標	実績	目標	実績		
H27	6ヶ所	100.0%	ヶ所	ヶ所	② 少子化・核家族化に加えて共働き家庭等に より家庭や地域全体の子育て機能が低下し ていきます。放課後の子どもたちの安全で豊 かな居場所を確保することが重要です。公 民連携で学童保育所を運営しており学童保 育所では第2太陽の子の設置を行いました。 ③	・公民連携で学童保育所を運営しておりひ ろくつ学童保育所の整備・運営の支援を 実施していきます。また、子育て支援もあ ります。 ・児童館の設置に向け協議が必要です。	◎検証結果	・地域ボランティアなど幅 広い人材の確保に努めてく ださい。 ・子育てに係る負担軽減 は、親からの負担だけでなく、産 科、子ども医療の充実や成 育支援の充実など、産 科の増進にもつながるよう 努めてください。
H27	6ヶ所	100.0%	ヶ所	ヶ所	《実施していること》 ・町内6つの学童保育所に対して管理運営 補助を実施しています。 ・学童保育所の運営充実のため、施設の維 持管理費等として補助事業の充実を図りま した。 ・研修会を実施し支援員の資質向上に努め ました。 《実施できていないこと》 ・学童保育所の入所希望者が日野地区で増 えています。	《基本目標・基本的方向を踏まえて》 ・平成28年度から7つの学童保育所とな ります。 ・見込まれる学童保育所の利用人数に対応 できる施設の確保、運営に努めます。 ・支援員の資質向上のため研修会を実施し ます。 《今後の課題》 ・学童保育所の管理・運営の充実が必要で す。 ・親や子どもとのニーズに沿った運営になっ ていくための運営者との協議が必要です。 ・運営の中で地域の方を主とすることが出来 ないか検討が必要です。	B	

①重要業績評価指標 (KPI)				内部検証				外部検証	
指標名 (H28) 担当部署	学童保育所の整備数			【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証 結果	コメント		
	実績	目標	達成率						
H28	7ヶ所	7ヶ所	100.0%	<p>① 少子化・核家族化に加えて共働き家庭等により家庭や地域全体の子育て機能が低下しています。放課後の子どもたちの安全で豊かな居場所を確保することが重要です。</p> <p>② 公設民営で学童保育所を運営しており、待機児童を出さないよう適切な学童保育所の整備を進めます。</p> <p>③ 《実施していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内7つの学童保育所に対して、管理運営補助を実施しています。</li> <li>・施設の充実に必要な維持管理費等として補助事業の充実を図っています。</li> <li>・研修会を実施し支援員の質向上に努めました。</li> </ul> <p>④ 《実施できていないこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育所の入所希望者が日野地区で増えており対策が必要となっております。</li> <li>・施設整備が必要となっております。</li> </ul> <p>⑤ 《要しが困難なこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備とともに支援員の確保が必要です。</li> </ul>	<p>《基本目標、基本的方向を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育所の管理運営補助を実施すると共に研修会を実施し支援員の質向上に努めます。</li> <li>・子育てサポート等を活用し子育て支援に取り組めます。</li> <li>・学童保育所を充実することで、家庭支援につなげたい。</li> </ul> <p>《今後の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の用地確保が必要です。</li> <li>・親や子どもたちのニーズに沿った運営になっているのか運営者と協議が必要です。</li> <li>・運営の中で子育てサポート等の方を発生かすことができないか検討が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員、支援員として保護者も一緒にあって、町外への研修研修等を行った上で職員を交換し、町外の良いところを取り入れることが必要です。</li> <li>・今の入居ユーザーを将来的に支援員につなげる仕組み作りという観点で取り組みを進めてください。</li> </ul>			
H29	7ヶ所								
H30	7ヶ所								
H31	8ヶ所								
目標値 (H31)	8ヶ所	7ヶ所	87.5%						

(KPIの裏返し内容)

指標名 実績した理由	学童保育所の整備数			指標名 見直しした理由	指標名 年度		
	前	後	後		前	後	後
年度				年度			
H28				H28			
H29				H29			
H30				H30			
H31				H31			

基本目標  
 結婚・出産・子育ての希望をみんなで作ってかええる  
 ○結婚に向けた男女の出発の場の創出を図ります。  
 ○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。  
 ○子育てサポートセンター等、現状のサービス等の充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。  
 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

施策ID 14 施策 児童・生徒の自主的学習支援の推進  
 実施内容  
 ・児童・生徒の基礎的学習の補充ならびに自主的学習の機会を確保するための学習支援教室の実施と、その内容充実を図ります。

種別 事業名 (H28) 担当部署	① 習業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
	計画	実績	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
H27	1ヶ所	1ヶ所	100.0%		ホランテニア講師による「チャレンレンジ教室」を開催しました。 1会場4回開催 参加者26人 ◎ ② ③	平成28年度から7地区での開催に向けた取り組みを進めます。	◎	・子どもたちの発達段階にあつた学習支援により、子どもたちの成長につながるよう努めてください。 ・学習支援を通じて、家庭の教育負担の軽減につながるよう取り組みを進めてください。
					《実施していること》 ホランテニア講師による「チャレンレンジ教室」を開催しました。 《実施できていないこと》 対象児童生徒の選定の協議（学校や福祉課等との調整）については、横断的な体制になつていないため実施できていません。また、小学生を対象として取り組んでいるため、中学生を対象に実施できていません。	《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・対象児童生徒の選定についての協議（学校や福祉課等との調整）が必要です。 《今後の課題》 ・小学生の取り組みで定着してきたら、中学生も対象にしていくことが必要です。	A	

① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	学習支援教室を開催する会議数	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	◎検証結果	コメント
高学年 (H26) 担当副理 学校教習課	0ヶ所		目標	ポランティア講師(退職教員を中心)による「チャレンジ教室」を開催しました。1会場 参加者41人 5日間 更に各校での夏休みの補習にチャレンジ教室のポランティア講師を派遣3校 計6回	平成29年度から「地球未来塾」とし、大學生ポランティアにも講師を依頼し、教室を昨年同様と同様に各校からの補習への派遣も行う。		保護者からみて、その時のニーズにあった切れ目のない支援となるよう、ターゲットを絞らず全ての子どもを対象とした事業を考えみてほしい。
H28	7ヶ所	4ヶ所	57.1%	② 中学生の学習支援についても、平成28年度から経済的な支援が必要な家庭の生徒に対し、週1回の学習支援を実施している。	《実施していること》 ・小学生には、希望する児童を対象に夏休みを中心に学習支援を実施している。 ・中学生には、経済的な支援に必要な家庭で、希望をすする生徒(3年生)に対し、週1回の学習支援を年間を通じ実施している。(少年センターに委託実施)	◎	・保護者をはじめ、地域の人の(地域の子ども)の努力を上げることに関心を持ってポランティア講師をやってもらうなどという発想をもち、左民側の力量を發揮、引き出すことを視野に入れ、 ・基本目標と基本的方向性をみると、施策が不十分で、施策自体を考え直す時にきていますので、検討してください。
H29	7ヶ所			④ 《実施できていないこと》 ・小学生の年間を通じた学習支援の実施。	《基本目標、基本的方向性を踏まえて》 ・子どもたちを取り巻く環境を、学校や地域、家庭と連携し学習支援に取り組むことが必要です。	B	
H30	7ヶ所			⑤ 《今後の課題》 ・対象や期間を狭やそうと考えた時、事業を継続して運営する方向性を			
H31	7ヶ所						
目標値 (H31)	7ヶ所	4ヶ所	57.1%				

【評価が下がったことに対する懇話会からの再コメント】

- ・評価がAからBに下がりました。
- ・KPIの達成率が下がったためですが、全ての子どもを対象に取り組みを進めることを視野に入れ、基本目標・基本的方向性を踏まえての今後の改善計画について見込みを示してください。

【担当課からのコメント】

- ・全ての子ども学習補償の観点から、今後の施策を検討していきます。
- ・実施する場所、指導者の確保、財源の確保等、即としての子育て支援の視点での連携した取組みを検討します。

(KPIの見直し内容)

指標名	学習支援教室を開催する会議数	指標名	見直し理由
見直し無し	見直し無し	見直し理由	理由
年度	前 後	年度	前 後
H28	H28	H28	H28
H29	H29	H29	H29
H30	H30	H30	H30
H31	H31	H31	H31

地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々ニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が活躍や子育てに希望をもちてもらうをめざします。

基本目標 結婚・出産・子育ての希望をみんなであえてかえる

- 結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。
- 出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。
- 子育てサポートセンター等、現状のサービスの実現や子育てに際する負担の軽減を図ります。
- 育児休業の取得促進や多様な働き方の普及を図ります。

基本的方向 育児休業の取得促進や多様な働き方の普及を図ります。

施策名 15 奨学金制度の充実

施策内容 ・ 経済的理由により就学が困難な子どもへの支援のため、日野町奨学金制度の充実を図ります。

①重要業績評価指標 (KPI1)

指標名 (H26)	奨学金の貸与人数		実績	達成率
	目標	実績		
担当部署 学校教育課	4人			

実施年度	目標	実績	達成率	評価	理由	改善策
2027	6人	6人	100.0%			

実施年度	実施状況	【今後の取り組み】	◎検証結果	外部検証コメント
	<p>① 高等学校、専修学校および大学に在籍する者に奨学金を貸与しています。 大学等20,000円/月 高等学校10,000円/月 平成27年度貸与者 高等学校2名 大学等4名</p> <p>② 《実施していること》 ・ 町の広報やホームページ等で広く周知を ・ 実施できていること ・ 高等学校や福祉課などと連携し、奨学金の必要な方に対しての周知があまりできていません。 《実施が困難なこと》 ・ 奨学金が必要な方のニーズを把握し、制度とのマッチングをする必要が有ります。</p>	<p>【今後の取り組み】 平成28年度から大学等での就学が著しく困難な方、独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受ける場合について、奨学金が併用貸与できるよ取り組みます。</p> <p>③ 《基本目標》 基本的方向を踏まえて ・ 卒業後に奨学金や教育ローンの金利を含む返済が負担となり、貸付を拒否している状況があること ・ 独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けたい場合について、奨学金が併用貸与できることを広く周知することが必要です。 《今後の課題》 ・ 奨学金の貸与が必要な方に、情報が届くよう制度周知方法の検討が必要です。</p>	◎検証結果	<p>・ 現在の奨学金制度について、地方創生の観点から、町の子どもで支援の目玉として、卒業後に町へ定住する者への給付制度とすることについて検討ください。</p>
			A	

① 重要業績評価指標 (KPI)				内部検証		外部検証	
指標名	奨学金の貸与人数	達成率	目標	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	⑤検証結果	コメント
基準値 (H26)	4人						
担当部署	学校経営課	実績	目標	達成率	目標		
H28	8人	3人	37.5%	② 高等学校、専修学校および大学に在籍する者に奨学金を貸与しています。 大学等20,000円/月 高等専門学校0名 大学等3名	平成28年度から大学等での就学が著しく困難な方で、独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けられる制度を員面し、平成29年度から1名の方が併用貸与を受けていたようにになりました。		・奨学金制度について、他部署とも連携し様々なように努めていくこと。 ・大学卒業後に日野町に定住する学生には、貸与ではなく給付の奨学金の制度を作ることを検討してください。 ・他府県の事例も参考に、県と連携した新しい制度の構築をもちつべます。
H29	10人			③ 《実施していること》 ・町の広報やホームページ等で広く周知を促している。 ・平成28年度から大学等での就学が著しく困難な方で、独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けられる場合について、奨学金が併用貸与を実施していません。 ④ 《実施できないこと》 ・本当に奨学金が必要な方に対しての周知ができていない。 ・奨学金が困難なこと》 ・奨学金が必要な方のニーズを把握し、制度とのマッチングを必要とあります。	《基本目標、基本的方向を踏まえて》 ・卒業後に奨学金や教育ローンの金利を含む返済が負担となり、返者の負担を招いている状況があることから、独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受ける場合について、町の無利子の奨学金が併用貸与できることを広く周知することが必要です。 ⑤ 《今後の課題》 ・奨学金の貸与が必要なる方に、情報が届くよう制度周知方法の検討が必要で。	C	
H30	12人						
H31	15人						
目標値 (H31)	15人	3人	20.0%				

【評価が下がったことに対しての懇話会からの再コメント】

- ・評価がAからCに下がりました。
- ・「貸付」ではなく、在学後に定住することで返済金相当分を給付する等、他府県の事例も参考に県と連携した新しい制度の構築を検討してください。

【担当課からのコメント】

- ・卒業後に日野町に定住することを条件に、給付とする奨学金については充分な議論と検証が必要と考えます。

(KPIの異動し内容)

指標名	異動した理由	指標名	異動した理由
奨学金の貸与人数	異動した理由	奨学金の貸与人数	異動した理由
前年度	後年度	前年度	後年度
H28	H28	H28	H28
H29	H29	H29	H29
H30	H30	H30	H30
H31	H31	H31	H31